

奇しき天候に恵まれ (7月29日)
立教記念大祭 恙なく厳粛に挙行
 宵宮・納涼会も予定通りに(記事は4ページ)



発行所
 宗教 寶生教大阪本部
 大阪市西区北堀江3丁目10番
 電話 06(6531)6722
 FAX 06(6531)6152
 © (非売品)

9月号

自家成立の
 根源は和にあり
 秩序の根源は
 神祖崇敬より

ご教話 自然の法則に従う
 — 祖先祀りを基本に —

常識外れの、東から西へと移動する台風十二号。その接近にもかかわらず、七月二十八日の宵宮納涼会が通過し、朝から青空のぞく好天気。奇しき神助の元、恙なく厳粛に祭典が挙行されました。



大祭ご教話なさる本部長様

寶生教、立教記念大祭、誠にお目出度う御座居ます。西播、養老、両教会長様を始め、ご家族様、教信徒の皆様、又、西は九州、中国地方、東は東京、千葉、神奈川、東海各地区、そして大阪市内、近郊の本部教信徒の皆様、ようこそご参拝下さいました。

まず初めに、七月初めの大雨により、二百名を超える方々が命を落とされ、未だ復旧にも時間が掛かりそうです。亡くなられた方々のご冥福と、一日も早い復興を心よりお祈り致します。本日の大祭の奉納舞楽は、「納曾利なそりの急」という曲で、舞人は新宅の倭子さんです。

大変雅やかに舞われ、衆人の皆様も日々の練習の成果を十分に発揮され、神様に「お、明治四十五年七月三日、御教祖の御身体に、元無極体天御中主国常立之尊産土之大神が御降臨なされたのが寶生教の始まりであり、本日は開教の御偉業を称える、大切な我が教

えの立教記念大祭です。御教祖は明治天皇の御心を引き継がれ、これから乱れるであろう日本を救えと、直接神様からお諭しを受けられました。彼の大東亜戦争終戦以来、七十年余り経った今日、日本の良き伝統、文化が失われつつあると、皆様も感じることが多々あるかと存じます。

つい先日、次の様な報道がありました。女性衆議院議員の杉田水脈みづな氏が、「LGBT、所謂、同性愛者と呼ばれる特殊な性的嗜好を持つ少数の人達に対して、行き過ぎた保護を行政が行う事は如何なるものか。」と、ある雑誌に寄稿したと



記念大祭、舞楽「納曾利」の一人舞が奉納された。

秋之例大祭

大阪本部

十月十四日(日)

午前十時半

御本宮

十月七日(日)

西播教会

十一月三日(祝)

養老教会(開設九十周年記念)

十一月十一日(日)

ころ、左寄りと言われるマスメディア、朝日、毎日やヤフーニュース等が、総攻撃を仕掛けました。世に言う、大炎上が起きたのです。しかし、この杉田氏の発言内容は、まこと当たり前の内容で、むしろ杉田氏の発言こそ正論であると、私は考えるのです。

要約しますと、杉田氏は次の様に述べています。

「朝日、毎日といった左寄りのメディアは、『LGBT』の権利を認め、彼ら

を支援する動きを報道する事が好きな様ですが、違和感を覚えざるを得ません。少数の同性愛者が『生きづら』という世の中を、行政が主導して様々な社会制度を変えてまで、少数派の主張を聞き入れる事が、果たして国の将来を明るく



夏の供物を献り、祝詞奏上の祭主様

参拝者一同、祭主玉串に心を合わせ列拝奉奠



するの？ 国益にかなうのか？

常識や当たり前前、普通である事を見失っていく社会は、秩序が無くなり、いざれ崩壊していく事になりかねません。」

という内容なのです。全く正しい事だと思いませんか？

男性と男性、女性と女性という同性愛カップルでは子孫を残せないの「非生産的」だ、という言葉がけしからんと大炎上したそうです。

決して「LGBT」の存在を否定するつもりはありませんが、これまでの日本の「当たり前」や制度を変えて迄、少数派の方々に合わせる必要があるのでしょうか？

私達日本人の「当たり前」とは、既に『古事記』や『日

本書紀』の中で語られている事ばかりです。私達の信仰する日本の神々は、独断的ではありません。

有名な神話の一つ「天岩戸隠れ」の中で、天照皇大神が天岩戸にお隠れになると、神々が集って対策を話し合う様子は、とても民主的ですし、他にも神々が泣いたり、笑ったり、怒ったりと、非常に人間味に溢れています。これは、私達の神道の基本が、祖先祀りにあるからなのです。

ジャーナリストの櫻井よし氏は、著書『気高く、強く、美しくあれ』の中で、次の様に解説されています。

「日本の根源は、縄文時代に遡ると云われています。縄文人は、世界でも極めてユニークな、独自の文明を築きました。縄文時代から弥生時代への移行期に於いて



直会お開きの万歳三唱。



台風過ぎ去り朝から青空がのぞき。

ても、争いによって殺されたと思われる人骨は出土されていません。

日本列島に住む人々は、遙か古代から豊かな自然の中で、殆ど争う事無く、独自の日本文明を築いてきました。

又、出雲では、日本神話の『国護り』が実際に行われた事を示す発見がありました。出雲大社が、かつて高さ四十八メートルを超える建築物だったことを裏付ける柱の跡も発掘されています。

この様に、我が国では縄文時代から、人間的な優しさに満ちた価値観は国柄として『和』の精神を尊び、民を『おおみたら』と呼んで慈しみ、国民がしあわせに生きられる社会を築く事を国家統括の柱としてきました。」

日本だけでなく、世界に於いて全ての社会の基本は、家族です。少数の個人の主張や権利を優先する社会が、本当にしあわせなのではないか？

ここで今一度、御教祖の教えを思い出しましょう。それは、明治の御世の精神を受け継いでいけ、というものです。明治天皇のお示しになった「教育勅語」が、その精神を伝えてくれます。

祖先祀りを基本とする神道精神を伝えていく事が、皆様の大切な家族を守り、社会を守っていくのです。その事に誇りを持ち、私達の寶生教を家族に、そして社会に広め伝えて参りましょう。

何事も大神様、御祖先は皆様を守って下さっています。神々の息吹を大いに受けられ、教信徒皆々様の益々の自家成立繁栄をお祈り致し、立教記念大祭の挨拶と致します。

最後になりましたが、本日の大祭、昨日の宵宮祭斎行、又納涼会開催に際し、総代様を始め、役員各位、有志の皆様には誠に暑さの中、連日のご奉仕を賜り、厚く御礼申し上げます。

本日はようこそ御参拝下さいました。

御本宮 月並祭

毎月第一日曜日 午前十一時半より

ご 教 話 神道精神が日本の常識

祭 並 月
(8月1日)

皆様こんばんは。本日は立教大祭でもお話ししました、LGBT(レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー)についても少し詳しくお話をしたいと思います。

少し前の報道ですが、衆議院議員の杉田水脈氏が、

これらの問題に対して、行き過ぎた政策をしないと国益を損なうのではないかと発言したところ、左寄りのメディアから批判され、問題となりました。しかし、杉田氏の発言は、至極当たり前であると感じました。以降、杉田氏の発言を要約します。

朝日新聞や毎日新聞といったリベラルなメディアは、「LGBT」の権利を認め、彼らを支援する動きを報道することが好きな様ですが、違和感を覚えてなりません。最近の報道の背後にうかがわれるのは、彼ら彼女らの権利を守ることに加えてLGBTへの差別を無くし、その生きづらさを解消してあげよう、そして多様な生き方を認めてあげようという考え方です。

私が言いたいことは、決して性的嗜好少数派の存在を否定するものではないという事です。しかし、性的嗜好少数派の方の権利を守るために、これまでの日本の常識を変える必要はないように感じます。

そもそも、日本は同性愛者を非国民として扱ったことは、歴史上一度もありません。それにも関わらず、左寄りのメディア(毎日・朝日・ヤフーニュース等)は、欧米が同性愛者に対して、非常に寛容な態度を取りつつあるので、日本も見習うべきではないかと言っています。

しかし、そもそも日本と欧米は社会構造が違います。また、LGBTの当事者の方から聞いた話によれば、生きづらさという観点でいえば、社会的な差別云々よりも、自分たちの親が理解してくれないことの方が辛いそうです。つまり、制度を変えたからといって、LGBTの人の根本的な生きづらさは解消されません。しかし、リベラルと呼ば

れるマスメディアは、生きづらさを社会制度のせいにしてがちです。

そもそも世の中は生きづらく、理不尽なものです。それを自分の力で乗り越える力をつけさせることが、教育の役割ではないかと思

います。生きづらさを行政が解決してあげることが悪いことというわけではありません。しかし、行政が動くということは、税金を使うという国益にかなうことでしょうか。税金を使うことでは、国益にかなうことでしょうか。しかし、LGBTのために税金を使うことは、国益にかなうことでしょうか。これは大きな問題であると私は感じています。

また、一言でLGBTと言いますが、LGBTは嗜好の問題です。しかし、T(トランスジェンダー)は生まれ持った脳の障害であると認められています。最近の報道でよく目にするのは、学校の制服問題です。例えば、多様な性に対応

するために、自由に制服が選択でき、女子向けのスラックスを採用している学校もあるようです。この様なことが、さも良いように報道されていますが、それならば、トイレはどうするのか不思議に思われませんか？

アメリカでは二〇一六年に、オバマ政権が公立学校において、トランスジェンダーの子供や児童が、心の性に応じてトイレや更衣室

を使用するようにする、という通達を出しました。しかし、これが大きな混乱を起しました。現在は、トランプ政権に変わり、この通達は撤回されましたが、この様な発言が大混乱を招いたということは報道されなかつたことでもあります。多様性を受け入れて、様々な性的嗜好も認めるとなると、どんな例外を認めざるを得なくなり、歯止めが効かなくなりそうです。

一方、オーストラリアやニュージーランド、ドイツ、デンマークなどのパスポートでは、性別欄を男性でも女性でもない「X」とすることができるようです。また、性転換手術が進んでいるタイでは、十八種類の性があると言われています。LGBT容認(例・宝塚



立教記念大祭直会。広間会場が一つに。和やかに、にこやかに。



市では、同性カップルにも結婚証明書を発行する等)が、さも進んでいて良いと報道されがちです。しかし、このように例外を認めてしまうと、世の中が混乱してしまいます。常識や普通であることを見失っていく社会は、秩序がなくなり、いずれ崩壊していくことにもなりかねません。私は日本をそうした社会にしたくないのです、と言

うのが杉田氏の主張です。いかがでしょうか。おっしゃっていることは、まさに正論であると、私は思っております。では、皆さんはこの日本において、男性、女性とはどこで決められたのかご存知でしょうか。実は、皆さんもよく耳にしている『古事記』の中で既に語られているのです。祈念詞の中で、伊弉諾伊邪那冉之尊という神様をお呼びします。この二柱の神様が、日本をお生みになり、その国土に様々な自然を生み、神を生み、現在の私たちの生活の基盤を造って下さいました。伊弉諾伊邪那冉之尊は宇宙創造の神々から、国を作れと命じられました。そして、伊弉諾伊邪那冉之尊から神様に性別ができました。男性である伊弉諾之尊は「私の体には、成り成りて成り余るところが一つある」と言い、女性である伊邪那冉之尊は「私の体には、成り成りて成り足らぬところが一つある」と言いました。そして、男性の神が女性の神に「この成り余るところと成り足らぬところをお互いに合わせて、国を生

もうと思うがいかがであるか」と問いかけたという訳です。

このように、私たちの日本は、男性、女性の違いが神の時代から、はっきり決められて、今現在まで続いているのです。

それから、大八洲(北海道・本州・四国・九州・近辺の島々)を産み、そこに木・川・水・風を産み、今現在必要な物全てを産み出して下さったのが、伊弉諾伊邪那再之尊です。

よって、日本の常識や当たり前というものは、私たちの信仰する神道にあるのです。つまり、この寶生教を信仰することが、日本の常識を守ることに繋がるのです。

ですから、先ほどから述べている通り、左寄りのメディアが、日本の古き良き伝統を如何に壊すのかお分かりいただけただけでしよう。つまり、私たちはその時々において、これは日本の基本であるのかということを考えて対応しなければなりません。

分かりやすく言うならば、自然の法則に従うことが、一番当たり前となります。自然界では、当たり前でないとして生きていくことはできません。

私たち人間は、文明生活を送っていますが、自然の中で生かされている命に過ぎません。そのように考えると、私たち日本の当たり前は、自然に従うということとです。自然そのものが、日本人にとっては神ということとです。

よって、杉田水脈氏の発言は、極々当たり前であるというわけです。正しいことは、やはり正しいと言わなければなりません。特に、これから担う若い方々、これから世の中はどんどん混乱していきま。そのような中で、私たちは

神道というものをしっかりと持ち得て、これからの人生や社会を照らし合わせて考えていくことが必要となっていくきます。本日は、暑いところ熱心にご参拝いただきまして、誠に御疲れ様でございます。

雨風の心配をよそに、教会境内賑やかに、踊食飲遊

立教記念大祭 宵宮・納涼会

七月二十八日(土)、立教記念大祭の宵宮祭、引き続き、夏の恒例神賑わい行事

納涼会が開催されました。当日は台風十二号が日本列島に接近中で、天気予報では雨。しかし、大神様の「開催できる」とのお言葉に、役員、有志の皆様は、予定通りご準備下さり、先ずは宵宮祭、滞りなく斎行。納涼会が開始しても、お蔭様で心配されていた雨も降らず、役員、婦人部、有志の皆様のご奉仕による食べ物、飲み物に、青年部のゲームと、教会内は大盛況。恒例の民踊や、寶生倶楽部の演奏会、子供さん達お



修行殿・幣殿では、民踊に恒例の寶生倶楽部の吹奏楽



花火も予定通りにみんな楽しみました。



修行殿の内外は大盛況。生ビールに、焼とり、からあげ、フランクフルト……。



楽しみの花火大会も予定通り実施されました。大神様のお蔭を以て、奇しき天候を授けて頂き、準備から後片付けに至るまで、雨風無く、無事に終了致しました。当日、暑さ厳しい中、諸準備、ご奉仕下さいました総代様を始め、役員の皆様、有志の皆様にご感謝致しますと共に、来年も賑々しく開催出来まます事を心より祈念致します。

教会行事

九月 一日(土)	月並祭	午後七時
二日(日)	御本宮月並祭	午前十一時半
五日(水)	宝生会(ダイヤモンド滋賀)	午前九時
八日(土)	修行日	午前十一時、午後七時
九日(日)	教祖祭	午前十時
十五日(土)	月並祭	午後七時
十六日(日)	にし恋マルシエ	
十七日(祝)	西播教会修行日	
二三日(祝)	秋之祖先霊大祭	午後一時半
二五日(火)	修行日	午前十一時、午後七時
二九日(土)	名古屋地区敬和会	
三十日(日)	養老教会修行日	
十月 一日(月)	月並祭	午後七時
七日(日)	御本宮秋之大祭	午前十一時半
御本宮遙拜式		
八日(祝)	修行日	午前十一時のみ
九日(火)	教祖祭	午前十一時
		午後七時

祝祭日には必ず国旗を掲揚しましょう

寶生教 国旗掲揚運動